



第 99 号(平成 29 年 12 月 27 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ  
特別隊員

## 島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は次の方々に長野県の山岳地域で発生した遭難事例を原則的に 1 週間ごとにお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。

- ◇お客様と接する登山用品店舗スタッフの方
- ◇インターネットの登山情報サイトを利用される登山者
- ◇長野県内の各地区山岳遭難防止対策協会

平成 29 年中の山岳遭難発生状況(平成 29 年 1 月 1 日～12 月 17 日)

BC(バックカントリー)は、登山行為を伴う「スキー(スノーボード)登山」と登山行為を伴わない「ゲレンデ外滑走」の総称。

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)外国人
平成 29 年	287	58	3	147	111	319	25
平成 28 年	266	42	6	146	103	297	15
前年同期比	21	16	-3	1	8	22	10
内)BC	22	1	1	9	16	27	10

山域別発生状況



区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	60	20.9%	16	1	32	13	62
	後立山	59	20.6%	8	1	33	21	63
	その他	35	12.2%	4	1	22	11	38
	計	154	53.7%	28	3	87	45	163
中央アルプス	22	7.7%	6		10	7	23	
南アルプス	15	5.2%	5		7	3	15	
八ヶ岳連峰	32	11.1%	7		19	13	39	
その他の山岳	64	22.3%	12		24	43	79	
計	287		58	3	147	111	319	

態様別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	82	28.6%	25		62		87
転倒	72	25.1%			72		72
病気	29	10.1%	14			15	29
道迷い	54	18.8%				80	80
落石	7	2.4%	1		6		7
雪崩	5	1.7%	4		2		6
落雷		0.0%					0
疲労凍死傷	18	6.3%	4			14	18
不明・他	20	7.0%	10	3	5	2	20
計	287		58	3	147	111	319

男女別・年齢別比率

区分	男性					(人) 比率	女性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	1			3	4	51人 23.2%				1	1	16人 16.2%	5	67人 21.0%
20代	3		7	13	23				2	3	5		28	
30代	5		11	8	24		1		5	4	10		34	
40代	4		15	6	25	70人 31.8%	1		10	4	15	38人 38.4%	40	108人 33.9%
50代	10	2	22	11	45		2		15	6	23		68	
60代	16	1	16	15	48		1		19	5	25		73	
70以上	12		17	22	51	99人 45.0%	2		8	10	20	45人 45.5%	71	144人 45.1%
計	51	3	88	78	220		7	0	59	33	99		319	
比率	69.0%						31.0%							

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
11月22日	戸隠連峰	50	女	凍死傷	死亡	単独で登山中、何らかの理由で行動不能となり死亡
<p>23日、長野市戸隠連峰で、女性Aさん 50歳が入山後に行方不明となる山岳遭難が発生し、24日、心肺停止状態で発見となり、その後、死亡が確認されました。</p>						
<p>戸隠の遭難現場へ向かう救助隊員</p>						
11月26日	白馬乗鞍岳	35	男	その他	負傷	バックカントリースキーのため入山したところ、クマに襲われて負傷したもの
<p>26日、北アルプス白馬乗鞍岳天狗原付近で、バックカントリースキーをしていた男性Aさん 35歳が、熊に襲われ頭部等に重傷を負う事案が発生しました。</p>						
11月28日	北安曇郡 小谷村 大網峠付近	73	男	道迷い	無事救出	「塩の道」街道をトレッキング中に、道に迷い行動不能となったもの
		74	男	道迷い	無事救出	
		72	男	道迷い	無事救出	
<p>28日、北安曇郡小谷村北小谷の鎌倉山大網峠付近で、「塩の道」を散策していたいずれも70歳代の男性3人が道に迷う山岳遭難が発生し、29日県警へりで救助しました。</p>						
12月17日	八ヶ岳連峰 硫黄岳	40	男	滑落	負傷	ジョウゴ沢付近でアイスクライミング中、バランスを崩し滑落、負傷したもの

17日、八ヶ岳連峰硫黄岳ジョウゴ沢付近で、男性Aさん40歳がアイスクライミング中に滑落する山岳遭難が発生し、茅野署員及び諏訪地区遭対協隊員が救助しました。男性は軽傷の様です。

硫黄岳ジョウゴ沢付近の状況



12月17日	中央アルプス 木曾駒ヶ岳	61	男	発病	死亡	頂上から千畳敷に向け下山中、何らかの原因により発病したもの
--------	-----------------	----	---	----	----	-------------------------------

17日、中央アルプス中岳付近で、男性Aさん61歳が意識不明で発見となる山岳遭難が発生し、駒ヶ根署員と中ア遭対協救助隊により救助されましたが、死亡が確認されました。

木曾駒ヶ岳における遭難現場の状況



### 山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

長野県内の山間地は、大町大北地域、中野飯山地域を中心に既にまとまった積雪があり、その他の山域でも今後降雪による積雪の増加が見込まれます。特に低気圧や前線の通過時は大雪等の大荒れの天候となります。入山する際は冬山装備を携行するとともに、天候や積雪情報を収集し慎重な判断と行動をお願いします。

11月28日発生した小谷村での道迷い遭難は積雪及び当日の降雪により、登山道が不明瞭になったことが原因の一つにありました。冬山は夏山のような明瞭な登山道はありません。また、夏は通行できた登山道も雪崩の危険等により通行できない場合があります。これからの時期に登山に行く場合は、このような冬山の特徴を理解した上で十分な事前準備をしてから入山してください。

12月3週は2件の遭難が発生しました。いずれの事案も視界不良等により安全確保ができないためヘリコプターによる救助は断念し、地上部隊による救助活動を行いました。当然、このような場合は遭難者や同行者は救助隊と合流するまでの間、シェルターを構築したり、安全な場所へ移動する等、自らの安全を自分たちで守らなければなりません。冬山登山は夏山以上に様々なリスクが存在します。それらをしっかりと認識し、万が一の備えをしておきましょう。

\* 本通信に関する質問・意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp まで

=発行:長野県山岳遭難防止対策協会=